

花のまつり2009

10月16日(金)・17日(土)・18日(日) 米子市文化ホール

目的 花の生産者から一般消費者に至るまで、幅広い範囲を対象とした総合イベントとして、生産者の技術向上・栽培意欲の高揚を図るとともに、県民の花と緑に対する関心を高めることを目的に毎年開催する。

主催 鳥取県花き振興協議会

後援 鳥取県、鳥取県議会、鳥取県市長会、鳥取県町村会、鳥取県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会鳥取県本部、(株)鳥取花市場、(株)倉吉花き市場、(株)東亜青果、鳥取生花商園芸組合、倉吉花商組合、米子花商協同組合、とっとり花回廊

協賛 天野種苗店、大塚化学(株)、(株)サカタのタネ、白木屋種苗(株)、シンジェンタシード(株)、タキイ種苗(株)、(有)田口種苗園、(有)谷本種苗園芸、(株)中国種苗、フジ日本精糖(株)、みのる産業(株)、(株)ランドサイエンス



第39回鳥取県花き品評会

(受賞作品の一部の紹介)



左：農林水産大臣賞 杉川善寿(北栄町)トルコキキョウ(写真奥)
 中央：農林水産省生産局長賞 森田等(米子市) スプレーバラ
 右上：中国四国農政局長賞 遠藤達也(伯耆町) トルコキキョウ(花壇苗)
 右下：鳥取県知事賞 岡本俊雄(伯耆町)ビオラ

出品品目	出品数
キク	17
バラ・カーネーション	19
宿根草・球根類	11
1・2年草	30
枝物類	26
鉢物・花壇苗	41
合計	144

審査経過

10月16日、審査会場において12名の審査委員が、市場性、商品性、技術水準、経営・その他の基準に基づき、出品財を慎重に審査した。本年度は品質の高いものが多かったが、その中でも総合評価の高いものが賞に選出された。

審査風景（10月16日）



第12回フラワーデザイン協議会
(受賞作品の一部の紹介)



プロ部門 鳥取県知事賞
木村敦 (有) 木村生花店



一般部門 鳥取県知事賞
伊佐田知子



高校生部門 鳥取県知事賞
吉川愛果・中尾早希・村岡雄平
(倉吉農業高校)

部門	出品数
プロ部門	35
一般部門	13
高校生部門	19
合計	67

審査経過

10月16日、審査会場において5名の審査委員が、プロ部門、一般部門、高校生部門の各作品を慎重に審査した。本年度はレベルの高いものが多かったが、その中でも総合評価の高いものが賞に選出された。

審査風景 (10月16日)



下段左写真: 16、17日には来場者によるアレンジメント作品の人気投票が行われた。

同右写真: 来場者人気第1位
プロ部門 花Shop まつだ
松田 一樹

園芸教室

寄せ植え教室（講師：米子花商協同組合）



フラワーアレンジメント教室（講師：米子花商協同組合）



フラワーセミナー

なにわ花いちばテクニカルアドバイザー 宇田花づくり研究所代表 宇田明氏を講師に迎え、「ピンチがチャンス 不況に打ち勝つ花産業」をテーマに講義頂いた。



来場者プレゼント 県産花壇苗の無料配布



県内産の花壇苗（パンジー）を来場者（先着100名）にプレゼントした。

フラワーオークション・展示品即売会

プロの競り人による展示品のオークション。競り人：株式会社東亜生花 光谷環治氏



園芸資材・用品等の展示

協賛各社による新製品と花の新品種の参考出展

